

平成24年6月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成24年6月29日（水）午後3時4分～午後4時22分

2 場 所 所沢市役所7階 研修室

3 出席者 [委員] 富田常世委員長、守谷靖委員長職務代理者、京谷圭子委員、
吉本理委員、佐藤徳一教育長

[事務局] 山寄裕司教育総務部長、平塚俊夫学校教育部長、斉藤雅
裕教育総務部次長、齋藤敏男学校教育部次長兼学校教育課長、
則武辰夫生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中村
藤司保健給食担当参事兼保健給食課長、村川裕昭教育センター
担当参事兼教育センター所長、北健志教育総務課長、北田賢司
教育施設課長、浅野浩一社会教育課長、内堀耕介スポーツ振興
課長、富田一成文化財保護課長、仲法寛所沢図書館長、市川雅
美教育総務課主幹兼教育企画室長、末廣和久教育施設課主幹、
沼田芳行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、
鈴木実スポーツ振興課主査、杉本恵美保健給食課主査、小俣芳
彦保健給食課主査

[書記] 大部稔之教育総務課主査、鈴木明彦教育総務課副主幹

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 なし

6 開 会 本日の議案は、議案第8号と議案第9号の2件。

7 議 題

- 議案第8号 所沢市立学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱につ
いて

資料に則り、中村保健給食担当参事から説明がなされた。

以下、質疑。

(吉本委員)

学校医ですが、吉川先生は前医師会会長で柳内先生が今回、5月から医師会会長になられたと思うのですが、これは医師会会長の充て職でしょうか。

それとも、学校に行かれている先生の役員改選による替わりでしょうか。

(中村保健給食担当参事)

医師会会長になるということではなく、医師会からの推薦をいただいております。

(吉本委員)

わかりました。あまりにも忙しい方なので、大変かと思ひまして。

※ 富田委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

●議案第9号 所沢市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

資料に則り、鈴木実スポーツ振興課主査から説明がなされた。

以下、質疑。

(佐藤教育長)

新任の方の略歴だけでもご紹介いただいたほうよいと思います。再任はみなさんご存知かと思ひますので。

(鈴木スポーツ振興課主査)

吉永委員につきましては、早稲田大学スポーツ科学学術院の准教授でございます。越阪部委員でございますが、所沢市スポーツ少年団に所属しており、サッカー一部の副審判長でございます。梶原委員は所沢市レクレーション協会理事長でございます。徳島委員は所沢市医師会からの推薦をいただきまして、徳島内科クリニックの院長でございます。続いて、残りの3名につきましては公募の委員でございます。脇田委員はスポーツ推進員を経験されており、樋口委員は2004年から日本水泳連盟科学委員会レース分析測定チームに所属しており、また慶応大学ジュニア水泳科学トレーニングプログラムのコーチでございます。渡邊委員は平成23年8月所沢市西地区総合型地域スポーツクラブに入会されている方でございます。

※ 富田委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

8 協議事項

●所沢市学校給食施設等整備計画について

資料に則り、市川教育総務課主幹兼教育企画室長、中村保健給食担当参事兼保健給食課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(富田委員長)

4 ページの第 1 段階で、既存の単独調理場で親子方式が可能な調理場を改修するとありますが、一番の問題は食器について、中学校の分まで保管する場所があるのかというのが一点と、第 2 段階の親子方式が可能な小学校の調理場の新設という点で質問したいのですが、新たに中学校と一緒になると、かなり場所をとることになるのではないかと考えられますが、その場合、土地は確保できるのでしょうか。以上二点について教えていただきたい。

(中村保健給食担当参事)

まず保管庫についてですが、先ほど事例でお話した柳瀬小、柳瀬中の場合、小学校の調理場に中学校用の保管庫を設置するようなスペースがあるかということですが、この場合は調理場の一部を改修する形で保管庫を設置する予定になります。また、第 1 段階の他 2 校の学校につきましても、徐々に検討を進めていく中で、施設としては最初からしっかりしたものを持っている施設もございますので、大幅な改修工事はなく、対応できると思います。また、第 2 段階の親子方式で新設する場合、ご指摘のように保管庫と施設の釜を増設するという事は、他の調理場よりも大きな施設になると思いますが、それぞれ新規に設置する学校ですので、学校の敷地・形態も含めて検討しなければならないと考えております。

(京谷委員)

親子方式の場合は、資料を見ると「学校敷地内に建てることはできない」と書かれているが、この点については新たに土地を購入しなければならないということでしょうか。それとも、ただし書きにある「市長が良好な住居の環境を害する恐れがないと認め、又は公益上やむを得ないと認め許可した場合は、この限りではない」を適用するのでしょうか。

(中村保健給食担当参事)

建築制限ということで書かせていただいておりますが、工場的な性格を有するものについては建築基準法上では通常、学校敷地内には好ましくないとなっておりますが、市が進めている事業でございますので、可能な部分かどうかを協議していきたいと思っております。

(守谷委員)

従来の計画を再開すると、全部終るのに17年かかるというものだったのですが、これに関しては4ページの説明では、計画的に進めてもう少し年数を圧縮できるという考え方でよろしいでしょうか。

(中村保健給食担当参事)

今後、PFI方式も含めて検討した際に、大手のゼネコンであるとかそういったところが今回の事業にご協力いただけるようなことがあれば、複数校を単年度で建設できる方法があるかと思えます。まだまだ検討していない部分ですが、今後の検討委員会等を含めて検討させていただきます。

PFI方式の1つを紹介すると、特別目的法人(SPC)という会社を立ち上げながら、この会社が設計・建設、給食の調理・運営を合わせて進めていくものです。その資金についてはSPCが銀行等から借り入れ、民間の資金を投入するような方法で、最終的には15年返済という形になります。市としては15年割賦という形で、委員さんがおっしゃられたような圧縮した計画実施ができると思えます。

(守谷委員)

圧縮実施できたほうが市としても良いということですか。

(中村保健給食担当参事)

はい。給食センターも修繕しながら調理場等は大変きれいにさせていただいておりますが、配管等を含めまして老朽化が心配されると、早い段階で建設し、またあわせて学校においても、少しでも不公平感というものがなくなると考えております。

(富田委員長)

PFI方式というのは他市で実施していることは聞いたことがあるのですが、所沢市では初めてですか。それとも実施済みでしょうか。

(中村保健給食担当参事)

検討された経緯はありますが、実際にこの方法を取り入れたことはございません。

(吉本委員)

市として年間予算額的に、どれくらい余裕がここに入れられるか、現状で考えて、こういう計画を立てられているのか知りたいのですが。とりあえず1年に1校の予算は確保できる状況なのでしょうか。

(山寄教育総務部長)

お手元に提示しました整備計画につきましては、あくまでも教育委員会の事務局として、耐震化の後こういった教育施設の整備が必要であるということで、ご協議させていただいております。吉本委員からのご質問はごもっともではございますが、教育委員会の中ですり合わせいただいたものを今後、予算あるいは実施計画への掲載など、総合政策部・財務部と協議に入らせていただくという段取りでございますので、実際この事業にいくら確保できるかということは現時点では不明でございます。

(吉本委員)

耐震で年間数億円を使ってきましたよね。前回の委員会ではトイレの改修に4000万円位かかるということでしたし、収蔵庫を造りたいということでした。今まで耐震で使っていたお金を何らかに割り振っていただいて、教育委員会としては確実に給食部分は優先順位が高い位置にあって、やっていくという考え方でよろしいでしょうか。

(山寄教育総務部長)

おっしゃる通りでございます。前回の教育委員会会議と今回の教育委員会会議の協議事項で3件の教育施設の計画をご説明させていただき、ご協議いただきましたのは、いずれも高い順位とっておりますが、ただ市長部局の考えもございますので、公共施設マネジメントという観点からも3つの事業が並行して進められるとは思っておりません。この点については、今後、市長部局との協議・調整が十分に必要になってくると思われま。

(吉本委員)

わかりました。

(佐藤教育長)

直接この内容ではありませんが、委員の皆様方はセンター給食を学校で、自校給食を学校で食べる、両方ともご経験ありますでしょうか。

もしご経験がなければ一度いかがでしょうか。私共事務局としては食べておりますが、センターと自校給食では味も違うと思いますので、一度食べていただくと議論も違うと思うのですが。

長期間に渡る計画で、多額の費用がかかる計画でございますので、実際に食べていただいたほうが良いと思うのですが。いかがでしょうか。

(冨田委員長)

皆さんいかがですか。よろしいですか。可能であれば考えていただければと思います。

(山寄教育総務部長)

ただいまのご提案につきましては、時期等を勘案しまして、事務局のほうで調整をさせていただいたうえ、改めてご提案させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(京谷委員)

現時点で、単独調理場で親子方式が可能な調理場を改修するという第1段階の学校は何校とか、第2段階の学校は何校というのは判っているのでしょうか。

(中村保健給食担当参事)

当課が思っている部分での紹介にさせていただければと思うのですが、既存の学校では3校(3組)を考えておりまして、新規の学校につきましては11校(11組)の学校に進めるという考え方と、残った6校については単独での整備ということで、担当課としてそのように検討させていただいております。

(佐藤教育長)

参考までにですが、先ほどセンター給食と自校給食では味の差があると言い、これは確かにありますが、センター給食が良くないというイメージを持たれたようであれば訂正させていただきたいのですが、センター給食は埼玉県の学校給食コンクールでも優秀で、内容は担当からご紹介します。

(中村保健給食担当参事)

コンクールは県下で実施しているものですが、最も優秀な賞が教育長賞でございまして、平成21年度におきまして和田小学校が受賞しております。また、23年度におきましては北小学校が第2位の成績となっております。それぞれが直営の単独調理場でございますが、どちらも優秀な成績を収めております。

(富田委員長)

和田小学校は単独校ですか。

(中村保健給食担当参事)

はい。単独校であって、調理している人は市の職員です。直営校ということですね。

(富田委員長)

先ほどの教育長の話はセンター給食も優秀という意味ですよ。

(中村保健給食担当参事)

センター給食においても、県内で表彰を受けております。

(富田委員長)

今後、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしく申し上げます。

●平成25年度所沢市立所沢第二幼稚園園児募集について

資料に則り、齋藤学校教育部次長兼学校教育課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(吉本委員)

新入園児数についてですが、これは定員割れということですか。何か理由がありますか。

(齋藤学校教育部次長)

70名を募集しているのですが、公立ですので新入園の希望によって健康診断や親子面接等を経て、入園を決定しているという形でございますので、基本的にはこの数を受け入れながら35人を超えますと2クラスということになります。

(吉本委員)

応募人数と入園人数は、ほぼ一緒ということですか。

(齋藤学校教育部長)

特別な事情がない限りは受け入れております。70名を超えていなければ受け入れておりますので、定員自体は確かに下回っているということになります。

(守谷委員)

率直な考えを言うと、もうそろそろいいのではという感じがします。人数や入園率を出していただきましたが、極めて高いというのではなく、私立の幼稚園も整備されている地域で充実していると思いますので、もう公立としては役割を終える方向に向かっても良いのかなと思います。

(京谷委員)

70名の定員体制の中でも、とても人数が少ない訳ですよ。もう少し人数が集まっていれば存続価値があるかもしれませんが、どんなものでしょうか。確か、先生は2クラスでも大丈夫なようになっているのですよね。

(齋藤学校教育部長)

はい。そうです。

(京谷委員)

70名といえば対象地域の子供の約半数が通うような状況に設定してあるので、それに比べて入園者はかなり少ないかなと思います。

(佐藤教育長)

諮問いただいてからだいぶ時間が経過しており、諮問の附帯事項をお忘れになってしまいかと思います。今ありますか。答申いただいたときのものはありますか。

(平塚学校教育部長)

幼稚園運営協議会で平成16年から21年の5年間、ご審議いただきまして、閉園の方向ということで答申をいただきました。その際に、今、教育長から話がありました附帯事項がいくつかありまして、例えば、幼稚園がなくなってしまうことによって、幼児教育が手薄になってはいけないので、(仮称)幼児教育研究センターという幼児教育に対応するような機関等を併せて考えていく必要がある。というような意見もいただいております。いずれにしても、議会等でも閉園の方向と言いますか、幼稚園運営協

議会の答申を尊重していく方向でお話しております。あとは1教室増築になりましたので、すぐに閉園というのは難しいと思いますが、今後の入園児数の推移を見ながら、閉園時期については検討していく必要があると思います。

(佐藤教育長)

所沢幼稚園(昭和47年)、所沢第二幼稚園(昭和48年)が約40年の歳月を経て、幼児教育に多大な貢献をしてきたものについての閉園をすでに所沢幼稚園では行い、今度は所沢第二幼稚園で考えているのですが、これについては、兄弟の関係を大事にしていかなければならないということで、上の子が入園して下の子が入園しようとしたらなかったということを想定しながら、慎重に時期を見極めていかなければなりませんので、ある時、ご決断いただいて、やらなければいけない日が来るのかなと思います。

(冨田委員長)

耐用年数が5年ですので、2年目から5年目の間で推移を見極めながら、決めていくということでしょうか。

一度委員会としては結論を出した訳ですからね。廃園という方向で。遅かれ早かれそういう方向性は確認してもいいのではと思います。

(吉本委員)

国立の幼稚園や小学校というのはエリアを広く募集していて、なおかつ優秀な子が進学しているというイメージがある。特殊な教育環境を作ろうとしている。国立だから許されるという感じがして、市立の場合は地域限定という形になるようですが、例えば、全市を対象にして特殊な能力を持っているが協調性がないとか、そういう幼児教育というものに行政が参加する形になって、こういう施設を1つ2つ市として持っていて良いのではという気がするのですが。民間と同じだからなくしてしまおうというのではなく、民間と違う立場で所沢市はこういうものを持っているというもので、幼児教育というひとつの形があって欲しいかなという気がしています。

(京谷委員)

親御さんたちは民間幼稚園を選ぶ際にも、教育してくれるところを選んで行かせる方が多いですね。その点、市立の幼稚園はどの程度のことを行

なっているのでしょうか。お母さん方はなるべく色々なことを教えてくれる所ということで結構探し回って、そこに入園させているようですね。市の幼稚園はそのようなことはあまりしていないのですか。

(齋藤学校教育部長)

小中学校に学習指導要領があるように、公立幼稚園要領に則って行なっていると考えております。

(平塚学校教育部長)

所沢第二幼稚園につきましては、非常に自然に恵まれた立地条件ということもございますので、体験活動や地域と連携し、地域に根差した活動という点では非常に優れた教育効果の高いものを実践していると言えます。今年度につきましては、図工・美術の関係で関東甲信越ブロックの研究委嘱などをうけまして、そういう関係にも取り組んでおりますので、内容的にも充実していると思います。

(冨田委員長)

今後、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしくお願いします。

9 報告事項

- 教育委員会の事務事業に関する点検評価について（教育総務課）
- 所沢市都市公園規則の一部改正について（スポーツ振興課）
- 三富新田とその周辺地域に点在する文化財を巡るウォーキングマップの刊行について（文化財保護課）
- 第20期所沢市民大学について（生涯学習推進センター）
- 所沢市立狭山ヶ丘中学校の復温工事(暖房設備工事)・除湿工事(冷房設備の追加工事)が定められた整備方針に基づき、平成25年度から復温・除湿工事を実施することを願う件（6月市議会請願）の経過報告

10 その他

- ・教育委員会7月定例会：7月25日（水）午後1時30分～ 602会議室
- ・教育委員会8月定例会：8月29日（水）午後1時30分～ 602会議室

11 閉会 午後4時22分